



2000万円 全国被爆者募金を訴えます

核兵器廃絶のために行動する政府は国連加盟国の8割に達し、核兵器に悪の烙印を押し、禁止・廃絶へ法的枠組みを求める「人道の誓約」への賛同も半年たらずで6割、116か国へと増え続けています。この流れをうけ、国連総会第1委員会では核兵器の非人道性を告発し、全面廃絶や禁止条約の交渉開始を求める新たな決議案が相次いで提出され採択されています。まさに、核兵器禁止条約が国際政治の大きな焦点になっています。

現在、被爆者の高齢化はすすみ、平均年齢が80歳を超え、被爆者健康手帳保持者は18万人余まで減少し、長年被爆者運動を担ってきた役員が相次いで他界又は病に倒れる状況となっています。

こうした中で原水協の役割がますます重要になっています。

原水協は1955年の発足以来、被爆者援護・連帯を3つの基本目標の一つとして位置づけ被爆者募金運動にとりくんできました。

全国で集められた募金は、広島・長崎をはじめ全国各都道府県でささやかですが被爆者の年末のお見舞いや健康診断、相談活動、被爆者団体の運動や組織への援助など多様な活動を支えてきました。

日本原水協は被爆70年を機に、被爆者組織と連携を深め、交流会や懇談会、被爆者を励ます会などを開き、あわせて被爆者募金に本格的にとりくむ方針を決めました。被爆者の皆さんが国内外の期待に応え被爆の実相

を語ることをはじめとした役割を果たされています。
こうした中、原水協として援護・連帯の活動をいっそう強めていくことが求められています。

県目標27万円 募金活動グッズを活用ください。



- ① 募金を訴える カラーステッカー(右上の写真のもの)
- ② 募金用カラーシール (写真・左 ペットボトルなどに貼って使います。)
- ③ 募金を訴えるカラーチラシ。
- ④ 募金袋

これらを組織、地域に下ろしますので活用してください。(無料)



広島・長崎の原爆被爆者は全国で20万人——暮らしと健康に不安かえながら、核兵器なくそうと訴えつけています。あなたの募金は、被爆者へのお見舞い、相談活動や健康診断、被爆の実相普及などのために使われます。

被爆者援護・連帯2000万円募金

原水爆禁止日本協議会
東京都文京区湯島2-4-4
Tel 03-5842-6031
<http://www.antiatom.org/>



今年も県被爆者会に贈ります 12月15日(火) Pm1:30-県立図書館で贈呈式

県原水協は夏の平和行進や、各組織、地域で集めた被爆者募金を日本被団協に贈呈すると同時に、岡山県被爆者会にもお渡ししています。今年は12月15日、県立図書館の会議室で贈呈式を予定しています。

(写真は昨年度の贈呈の様子。県被爆者会の役員の皆さんと懇談、贈呈しました)